令和4年2月発行

50号

善称寺だより

日々のあわ

12月、何となく心にのしかかる憩いがあります。「クリスマスが今年も、やってくる…」日本でももはや国民的(?)行事。

どこへ出かけても、音楽を装飾も、街じゅうがクリスマス。本来の起源や由来はさておいて、大人も子供も、猫も杓子もクリスマス。そんな中で、お寺に生まれた5歳に、「うちはクリスマスやらないの」と言って聞き入れてもらえるでしょうか。答えは、否。とても困難な問題なのです。我が家では数年前、子の物心つく前に方向性を決めておこうと家族で相談した結果、クリスマスがどういう日なのかを説明しつつ、文化行事としてささやかに楽しむことに…したものの…なぜか毎年気が重い。

娘は家を飾り付けるのが大好き。いつの間にか壁には紙皿で作ったリースが吊るされ、色画用紙でできたサンタクロースや雪だるまやキャンディケーンの飾りに、見よう見まねで書いた「merry christmas!」のカードまで。これ、いいのだろうか……。

どうにも弾まない気持ちで迎えた昨年の12月24日。西本願寺のSNSにこんな投稿がありました。〈イエスくん お誕生日おめでとう! 来年はマスクのない世界にしたいね。From ブッダ〉そして、#Yourfriend Sakyamuni のタグ。そうか、お釈迦様のお友達の誕生日をお祝いしているんだ! なぜか少しだけ心が軽くなる私。

4月8日には、お釈迦様の誕生日もお祝いしよう。ケーキを食べて甘茶を飲んで。色とりどりのお花と、白い象を飾ろう。できればこちらも、国民的行事になればいいのにな、と願いながら。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。「善称寺だより」へのご意見やご感想、はがきやメールやLINEでお気軽にお寄せください。

坊守

本願寺にお参り

龍谷山 本願寺（西本願寺）京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
浄土真宗本願寺派の本山。世界文化遺産に登録されており、境内には国宝の建築物が点在する。

住職

一月七日。星が出ているうちに車で出発しました。高速道路はがらがら。少しづつ白み始める空を見ながら阪和道、第二京阪と乗りついで、上鳥羽出口で降ります。京都駅周辺の混雑を抜けて本願寺が近づくころには辺りは明るくなっていました。善称寺から5本願寺まで約二時間のドライブです。

本願寺の広い広い駐車場に車をとめたら、何はともあれ、本堂にお参り…ではなくてトイレへ直行！ はぁ～阿弥陀さま失礼しました。

本願寺に来た目的はもちろんお参りすることです。本堂の巨大な軒下でくつをぬいで、大人の胴回りほどある木材でできた階段をヒタヒタと上がります。幾万人の足の裏を受け止めてきたであろう木材です。会話を楽しむ観光客も、一段また一段と踏みしめるごとに無口になっていき、最後には息を潜めて入堂するような、そんな厳かな雰囲気をたたえています。

障子を開けて、冷んやりとしたお堂に入ったら静かに一礼して、と。適当な場所に正座し、お念珠をとりだして息をすいこむと、堂内の凛とした空気と一緒に阿弥陀さまの大慈悲が全身にしみわたるようです。

「なまんだーぶなまんだーぶ」お参りをしたらすっくりと堂内を拝観します。柱、欄間、内陣のお飾り、どれもスケールが大きい！ 圧倒され「大きい」ということの意味が知らされる場所です。

床の「埋め木」に発見！

一富士

二鷹

三茄子

さて、今年もご本山（本願寺）にお参りできました。お寺にお参りすることは、「本年も良い年でありますように」と祈ることではなく、次々と身におこってくる苦難を受け取ってゆく力を授かることです。どんな時も阿弥陀さまがご一緒して下さいます。「ありがとう」といただいて、感謝のお念仏ですね。

しかもオヤジギャグをおり混ぜつつ僧侶の視点で案内してくれますよ。楽しんでもらおうという気持ちが伝わってきました。観光で来られたご夫婦は、「単なる観光案内とは違って仏さまのことも教えてもらえて良かった」と話していました。

右）本願寺名物のお菓子「松風」は、本願寺vs織田信長の折に兵糧として製造されたそう。　左）境内案内をしてくれたお西のお坊さんと。案内のお坊さんはたくさんいて、人によって案内内容が違うそう。参加無料、予約不要、何回でも利用OKです。

「いのちと念仏」相談センターについて

「いのちと念仏」相談センターは浄土真宗本願寺派総合研究所に設置されている相談窓口です。

☎ 075-371-5811

月・水　12:30～16:00

宗務所休日・祝日は受付を休止します

相談は無料です

心の悩み相談

・家族関係について
・さまざまな不安
・ただ話を聞いて欲しい

・・・などの相談に、臨床心理学を専門とする心理相談員が応じてくれます。

お寺の日常発信してます

- ホームページ
- LINE　法事や相談の予約などLINEが便利です
- インスタグラム
- フェイスブック
- ツイッター

ここにアクセスすると、HP・各SNSを見ることができます

朝の法話 & おつとめ　おあさじ

YouTubeで配信中

・毎朝9時から（火曜休）
・法話の後にお勤めしています

どなたでもご参加いただけます

スマホ持ってる人！ LINEでお友達になろう！

イベント告知　法要の予約　墓花の注文

お寺の定休日や時間外でも連絡できます。お寺はタイミングをみてお返事します。やりとりは記録に残りますので、後々確認する時にも役立ちますよ。また、日々の出来事やイベントのお知らせなど、お寺を身近に感じていただけるような記事を配信しておりますので、ぜひLINEでお友達になってください。

カメラモードで読み取ってください

お釈迦さまの誕生日 花まつり

4月8日金～10日日

期間中、本堂前の誕生仏（赤ちゃんのお釈迦さま）に甘茶をかけてお祝いしましょう。

お子さまにはお菓子のプレゼントがあります。

みうらじゅんデザイン

天上天下唯我独尊

意味　この世界でただ人間のみが果たしうる尊い目的があるのだよ

柄は当日のお楽しみ

善称寺オリジナル和歌浦せんべい

花まつり限定柄が登場

森嶋、僧侶になったってよ

～「苦しみとは」の巻～

苦

先日お坊さんのYouTubeを見ていると「苦しみとは思い通りにならないという事」と言っていて、なんだかしっくりきました。仏教では「一切皆苦（いっさいかいく）」といって全ては苦しみであると説かれます。つまり私たちの世界は、自分の思い通りにはならないという事。そしてこの「苦」には「四苦八苦」という八つの苦しみがあるといいます。

1.生苦（生きる苦しみ）、2.老苦（老いる苦しみ）、3.病苦（病気の苦しみ）、4.死苦（死んでいく苦しみ）、5.愛別離苦（愛しいものと別れなければならない苦しみ）、6.怨憎会苦（嫌いなものと出会ってしまう苦しみ）、7.求不得苦（求めるものが手に入らない苦しみ）、8.五蘊盛苦（心身を思うようにコントロールできない苦しみ）

どれも生きていると必ず経験する事だなぁと思います。そもそも苦しみの原因ってなんなのでしょうか。仏教では外的要因ではなく、私達自身の心の内にある「執着」という煩悩であると説かれます。これをなくせば苦はなくなると説かれます。（これを達成したのがお釈迦様の「さとり」です）若さに執着するから「老」を、健康に執着するから「病」を、そして生命に執着するから「死」を苦と感じる。私達の心のあり方にこそ、苦をもたらす原因があった。

老・病・死にかぎらず、「あらゆる苦は人間の執着に起因する」というのがお釈迦様の考え方です。「苦は"欲望"と"現実"のズレから起こる」と表現すれば、わかりやすいかもしれませんね。

では煩悩（執着・欲）を無くそう！という事になりますが簡単にはいきません。若かりし頃の親鸞聖人も、煩悩を断とうと厳しい修行に励まれたと聞きます。しかし、20年経っても煩悩を断つどころか日に日に増していったと嘆かれています。（常行三昧という修行をされていた記録が残されていますが、ものすごく大変な修行です。気になる方は調べてみて下さい）その絶望の中にあった聖人が出会われたのが阿弥陀様でした。

「苦しんでいるお前が可哀そうだ。私が心ず救う。煩悩抱えたままのお前を見捨てない。」

無明長夜の灯炬なり 智眼くらしとかなしむな
生死大海の船筏なり 罪障おもしとなげかざれ

「正像末和讃」著：親鸞聖人『註釈版聖典』606頁

我欲にとらわれてばかりで、仏さまのような智慧と慈悲をそなえた眼は私たちには無いけれど、心配しなくていいんだよ、我執に充ちた私と気づいたとき、苦海の闇で惑う私たちを、阿弥陀さまの願いの船が、かならず私を乗せて浄土へみちびいてくださる。まるで、暗闇にともる灯台の灯火のように。

今年の目標は「急がない」です。
マイペースにやっていこうと思います。

僧侶・森嶋淳哉（釋淳信）

発行元　浄土真宗本願寺派
善称寺
640・8033　和歌山市本町5丁目32
http://zensho-ji.com
火曜日定休